

楽しい登山・ハイキングのなかま



遊歩会だより

第6号

山仲間の楽しい集まりに参加して下さい

“忘年会のご案内”

今年は、遊歩会発足20周年記念の山行として、7月に尾瀬ヶ原ハイキング（至仏山登山）、10月には初の海外登山（ヒマラヤ見学トレッキング）を実施し、遊歩会の歴史に新しい1ページを記録した年になりました。

マヒラヤトレッキングを含め、計画した6山では、一件の事故もなく、無事に登り終えることが出来ました、あらためてお礼を申し上げます。

さて、今年最後の遊歩会行事として、下記のとおり忘年会を計画しておりますので、大勢の皆様の参加をお待ちしています。残念ながら今年は山に行けなかった方は、忘年会だけでも参加して下さい。

飲んで、歌って、今年の山での思い出、来年の山の希望 等々語り合い・・・楽しい時間を一緒に過ごしましょう。

日時 11月27日（日） 午後4時～
場所 上越市民いこいの家
 上越市石橋1-1-3 TEL 545-5270
会費 1500円（当日会場で徴収します。）
申込期限 11月18日（金）までに各班の班長さんに申し込んでください。
 ※各班の班長さんは、11月19日（土）までに出席を取りまとめ庶務幹事（塚田 TEL 524-7848）に連絡願います。
担当班 第6班
 事前準備、受付、懇親会進行をお願いします。

【次第】

第一部（進行・副会長）

- ・開会挨拶
- ・会長挨拶
- ・各班の代表者から今年の山行を振り返っての感想、ご意見や、来年の山行の希望等を一言づつ

第二部（進行・第6班）

- ・開会挨拶
- ・乾杯
- ・懇親会
- ・閉会



村々では、子どもたちが元気よく遊んでいます。赤ん坊を背負った子どもを見ると、自分の子どもの頃を思い出してしまいます。戦後日本の復興期と似た感じです。

食べ物は、合わない人が多かったようです。細長い米のパラパラ飯。しつこい油。でも、香辛料の良く聞いた「おかず」は結構うまいものです。一人分の量が半端ではありません。二人分くらいありますが、ネパーリーはそれをお替りします。

お酒は「自家製」です。「ロキシー」といいます。アルコール度数も20%位のものから40%位まであります。確かめて飲まない大変なことになります。100cc=100円位。ちなみに500ccの缶ビールは600円。ビールを飲むのは高給取り。

水が関門です。ふんだんにある旨そうな水は飲めません。ミネラルウォーターを買って飲みます。どこにでも売っていますが、1ℓ80円～250円。ホテルでは無料です。

異なった文化・文明に触れるのは、楽しいし、有意義です。「へーッ」というようなことがたくさんあります。「日本の常識は世界の非常識」とか。ぜひ皆さんも一度どうぞ。

（文責・杉本敏宏）

【ヒマラヤ・トレッキング紀行】

遊歩会創立20周年記念事業として、エベレストを見るヒマラヤ・トレッキングを企画し、10名で行って来ました。

全体としては、ヒマラヤも「異常気象」で、山の頂はずっと雲に隠れ、微笑んではくれませんでした。帰国の直前になって雨期（通常5月末～9月末）が明けたかなという状況で、同時期にトレッキングしていた数千人のトレッカーが、同じ憂き目にあっていました。ガイドも「こんなの初めて」と。

山の頂上や雪を頂いた雄姿は見れませんでした。たいへん楽しいトレッキングでした。酒豪も言いつけを守って4日目から3日間禁酒しましたし、重症の高山病にもならず、全員無事に下山することができました。

「初めてネパールへ行った」人たちには、カルチャーショックだったのではないかと思います。初日のルクラ便は結局飛ばず、1日遅れの出発になりましたし、帰国便も2時間遅れでした。それでも誰も文句を言わないのです。「1分遅れても始末書」という日本では考えられませんね。時間の流れ方が違う。

トレッキング・ロードは、だいたい日本の登山道の2倍位の広さの石畳です。かつてのチベットとの交易路で、生活道路ですから、ロバや水牛が荷物を背負って、追い越したりすれ違ったりしていきます。大きな荷物を担いだ人たちが通ります。各国のトレッカーも。

私たちの荷物は基本的には雨具と水だけで4～5kg。他のものはポーターが担いでくれます。4000m近くではそれでもきつい。

